

よんでネット*

2022

夏号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「^{ぼん}盆まねき」

富安陽子

高橋和枝 絵



偕成社〔913ト〕

8月のお盆の三日間、なっちゃんの家^{かぞく}の家族は毎年、田舎のおじいちゃんの家^{いね}に泊まりに行きます。親せきも集まって、お盆はとてにぎやか。大好きなヒデじいちゃんやフミおばちゃんは、いつもなっちゃんに、うそか本当かわからない不思議なおはなしをしてくれます。今年、なっちゃんが聞いたのは、いったいどんなおはなしだったでしょう。

「おめでたこぶた その1 四ひきのこぶたとアナグマのお話」

アリソン・アトリー作 すがはらひろくに訳 やまわきゆりに画

森のはじっこで、四ひきのこぶたのきょうだいが、親^{おや}がわりのアナグマのブロックさんとしあわせにくらしていました。ある日、家族のきまりに堪忍袋の緒^おが切れた末^{すえ}、子^このサムは、家出し運^{うん}だめしに出かけます。途中で困^{こま}っていた牛^{うし}と猫^{ねこ}と犬^{いぬ}と小鳥^{こどり}を助け、おともに連れて、幸運をさがしますが…。楽しいちいさなお話がもつ入っています。



福音館書店
〔933ア〕



「その2 サム、風をつかまえる」

「その3 サムのおしごと」

「またまた おめでたこぶた サムとぶらぶら」
も あります

「あかりの花」 中国苗族民話

肖甘牛 採話 君島久子 再話 赤羽末吉 画



福音館書店〔E・絵本のコーナー〕

むかし、ある村にトーリンという若者がすんでいました。
ある夏の日、働きもののトーリンのひたいから汗がこぼれおち、
ま、白なユリの花がさきました。トーリンがその花を
持ち帰ると、あかりの火丁心がゆらめき、あかりの花から
美しいむすめがあらわれました。二人はよく働いてくらしが
豊かになりましたが、トーリンは なまけだして…。

「カモのきょうだい クリとゴマ」 なかがわ ちひろ



アリス館〔48ナ〕

ゲンとふみは、6月の大雨の日、冷えきったカモのたまごを
6つ ひろった。あたため、お世話し、かえたのは 2羽。
あまえんぼうのクリと、くいしんぼうのゴマ。目標は、一人前に育つ。
8月の終わりに野生にかえすこと。クリとゴマは 生まれてすぐに
庭に出て、小石・雑草・ダンゴムシ… なんでも つついてためてみる。
クリとゴマの かわいい写真も いっぱい！

「フシギなさかな ヒメタツのひみつ」

写真・文 尾崎たまき

ヒメタツは、タツノオトシゴのなかまで、熊本県水俣の海にだけ
いるめずらしい魚です。泳ぎは にがて だけど、かくれんぼが
とくいで、場所にあわせて 色や形をかえられます。
オスとメスが 結こんすると、ハートの形になって、メスが
オスにたまごをわたします。それから どうするのか？
このひみつは、どうぞ本を開いて見てください。



新日本出版社〔E・絵本のコーナー〕